



事業を支える基盤

役員紹介

取締役



代表取締役 社長執行役員

壺田 貴弘

1981年 当社入社
 2001年 当社取締役
 2008年 当社代表取締役社長
 ANEST IWATA Korea Corp.代表理事(現任)
 2014年 当社代表取締役 社長執行役員(現任)



取締役 上席執行役員

岩田 一

1988年 当社入社
 2001年 当社取締役
 2011年 当社監査役
 2016年 当社取締役(監査等委員・常勤)
 2018年 当社取締役 上席執行役員(現任)



取締役 上席執行役員

深瀬 真一

1988年 当社入社
 2008年 アネスト岩田キャンベル株式会社代表取締役社長
 2010年 当社執行役員
 2019年 当社取締役 上席執行役員(現任)



取締役(独立社外役員)

松木 和道

1976年 三菱商事株式会社入社
 2007年 経営法友会代表理事
 2010年 東京大学大学院法学政治学研究所客員教授
 2011年 北越紀州製紙株式会社(現・北越コーポレーション株式会社)執行役員
 2013年 同社常務取締役
 2016年 ドリームインキュベータ取締役
 サンデンホールディングス株式会社監査役(現任)
 2018年 当社社外取締役(現任)
 2019年 NISSHA株式会社社外取締役(現任)



取締役(独立社外役員)

米田 康三

1972年 株式会社住友銀行(現・株式会社三井住友銀行)入行
 2001年 同行執行役員本店営業第二部長
 2002年 Japan Equity Capital Co., 会長兼CEO
 2003年 大和証券エスエムピーシープリンシパル・インベストメンツ株式会社顧問
 2005年 平田機工株式会社代表取締役社長
 2012年 株式会社キンレイ(現・株式会社KRフードサービス)代表取締役社長
 2015年 当社社外取締役(現任) 株式会社タカギ社外取締役(現任)
 スリーフィールズ合同会社代表社員(現任)
 フォーライフ株式会社社外取締役(現任)
 2018年 北越メタル株式会社社外取締役(現任)

監査等委員である取締役



取締役

鈴木 正人

1987年 当社入社
 2011年 当社執行役員
 2015年 当社取締役
 2016年 当社上席執行役員
 2018年 当社取締役(監査等委員・常勤)(現任)



取締役(独立社外役員)

大島 恭輔

1982年 SUNX株式会社(現パナソニックデバイスSUNX株式会社)入社
 2000年 同社取締役
 2007年 同社常務取締役
 2011年 同社常勤監査役
 2015年 当社社外取締役
 2016年 当社社外取締役(監査等委員)(現任)



取締役(独立社外役員)

高山 昌茂

1987年 英和監査法人(現有限責任あずさ監査法人)入所
 1990年 協和監査法人入所
 公認会計士登録
 2007年 協和監査法人代表社員(現任) 税理士法人協和会計事務所代表社員(現任)
 2012年 当社社外監査役
 2013年 内閣府公益認定等委員会参与(現任)
 2015年 独立行政法人国立科学博物館監事(現任)
 2016年 当社社外取締役(監査等委員)(現任)



取締役(独立社外役員)

森 敏文

1968年 三菱商事株式会社入社
 1993年 欧阿中東三菱商事株式会社副社長
 1995年 米国三菱商事株式会社副社長兼グループCOO
 2000年 三菱製紙株式会社入社
 2004年 同社上席執行役員
 2007年 Heidrick & Struggles(Japan)代表兼マネージングパートナー
 株式会社コーチ・エィ顧問(現任)
 当社社外監査役
 2016年 当社社外取締役(監査等委員)(現任)
 2018年 Osborn & Mori Partners株式会社取締役パートナー(現任)

社外取締役メッセージ

松木 和道

当社の製品には、Sustainable Development Goals (SDGs)の目標のいくつかに直接寄与するものが数多くあります。また、製造、販売いづれにおいてもSDGsへの配慮がなされており、社内においても、SDGsの目標のひとつである「働きがいのある人間らしい」仕事を目指して風土改革を進め、さらなる企業の成長を目指しています。消費者の皆さまの目に直接触れる製品が少なく、社会からなかなか認知されにくいのですが、今後は、SDGs優良企業として幅広く社会から認知されることを期待しています。

米田 康三

「良い商品」と「良いお客さま」と「良い社員」の存在が企業発展に不可欠であります。当社には、高いシェアのハンドスプレーガンと小型高効率のオイルフリー空気圧縮機、世界に広がるお客さま、そして勤勉で真面目な従業員がいます。壺田社長以下の経営陣は、中長期の成長に資するコーポレート・ガバナンスの向上に深い理解を有しています。これら恵まれた条件を備えた当社の真の企業価値が、株主の皆さまにもっと評価していただけるように努めるのが、社外取締役の責務の一部であろうと考えております。